

【記者からの質問】

共同通信／高野連に。一緒にやると決めた理由、背景は？

渡邊高野連会長／日本高野連が、20日に本大会と地方大会の中止を発表した。同時に、代替大会は検討しているとのこと。生徒には、開催の可否だけでも知らせたかった。

その後、代替大会実施を県に報告した。今日午前中、協議し一緒にやろうと決めた。「オール佐賀」と聞いて、全ての高校生が集まる方が、全国大会はないが、県大会として成果が出せ、盛り上がると思った。

共同通信／参加高校数は、決まったか？

渡邊高野連会長／まだ集計していないが、聞く限り校長の反対意見はなかったし、常任理事会でもなかった。聞こえてくるのは、歓迎・賛成の言葉だけ。おそらく、野球部のある全学校が参加するだろう。

共同通信／野球以外で、通常なら、何種目、何競技？

教育長／31競技、34種目。

共同通信／参加できない高校・個人は？

教育長／高校レベルでの参加意思は、まだ確認していない。競技種目での意思を確認したところ。

知事／私立は、まちまち。学校再開時期もそうだった。丁寧に聞いていく。

西日本新聞／競技によって、試合時間を短縮することは？他県ではあるようだが？

知事／これから詳細が決まる。会長として、私は考えてない。今まで努力してきた、同じ形にしたい。その中で、感染症対策をやっていく。屋外の広いところでは、間隔を空けて応援するなど。3密になるところは、オンラインを使うなどの工夫を各競技でやっていく。

西日本新聞／観客有りとは？

知事／屋外であれば、有りで検討したい。野球なら、座席を1つ空けてとか1mとって見てもらう形。

西日本新聞／感染者が増えた場合、中止になると聞いた。中止の基準は？

知事／コロナボートの色が、赤になると中止の検討を始める。逆に、赤でなければ開催する。これに注目してほしい。

STS／高校野球の見どころは、応援やプラスバンド。今の段階で、有無の判断は？

渡邊高野連会長／まだ決まっていない。来月の会議で決まる。

ほとんどの学校から、野球部の保護者が観戦したいという要望が多い。保護者やベンチに入れない部員が、観戦対象になるだろう。

知事／ベンチ入りの人数制限もあるよね。

渡邊高野連会長／20人。

知事／それも、これから検討？

渡邊高野連会長／そうです。

知事／今年限りのルールがあってもいい。少なくとも、部員にはスタンドに入ってもらいたい。ベンチの大きさにもよるので、これから考えていきましょう。

NHK／総合閉会式もないと推察する。メダルやカップの授与の方法は？

知事／この4人が分担し、会場に行き授与する。それぞれの種目ごとに閉会式を作っていくたい。

読売新聞／6月20、21日開催し、ほかに予備日を設けていた。この案はなくなるのか？

教育長／今回、野球も加わった。競技によっては、中央の考えて6月の大会を禁止されている。それらを考慮し、今回の日程になった。

毎日新聞／「全国初」とは何をもって「初」なのか？

県職員／調べた中で、この形で発表しているところがなかったから。

毎日新聞／総体と野球も含めた代替大会だから？

県職員／そうです。

毎日新聞／総体の代替大会はある？

県職員／それも佐賀県が初で、ほかは検討中。

知事／そろって決定した点で、佐賀県が初めてなのは間違いない。

佐賀新聞／6月議会が間に合わないが、大会予算はどうするのか？

知事／今回予算は必要だろう。間に合う予算は6月議会に提出する。間に合わないものは予備費で対応する。

教育長／既定予算と予備費、足りないものは6月議会で決める予定。

NBC／生徒は自由参加？

知事／自由参加。

時事通信／オンライン配信の基準、具体的な方法は？

知事／知事部局と教育委員会、保健部局と一緒にやれる。会場が決まった時点で、基準作りをする。コロナがなくなることはない。ここで、新しいスタイルをすり合わせ検討することに意義がある。一番広いところの有観客のルールから、オンラインまで、それぞれを当てはめて検討していく。

仲間や保護者が参加できるよう、ルール化できたらいいと思う。

西日本新聞／開幕競技は決まっているか？

知事／10競技同じ日にスタートする。剣道、カヌー、新体操男子が、当日順位が決定し、閉会式まで行う。

開会式は、時間の都合で決まっていない。私は、女子ソフトに行こうと思う。この4人と副知事や副教育長も含め、応援に行く。報道の皆さんも協力してほしい。

佐賀新聞／県が入ることによる、具体的な盛り上げ策とは？

知事／それは、選手にとっては関係ないことかもしれない。県民こぞって応援しているという形が作れること、カップとメダルの授与。これは、他の県ではないと思う。また、今年に限り、知事名の賞状になる。

今年特殊な年。社会人になったときに、大変だったが、こんなことがあったと語れる大会にしたい。

佐賀新聞／この大会名称に込めた思いを。

知事／国体が国スポになる最初の年に佐賀大会がある。県民が、スポーツの素晴らしさを知ったり支えたりしてほしいとSSPと言ってきた。スポーツが持っている素晴らしさが国スポの後も続くように、この大会をするうえで、その前段階とした大会になるように、「SSP杯(カップ)」とした。